

2025年 新課程入試

新課程 共通テスト 「問題作成方針」公表！

問題冊子、解答用紙の変更点&イメージを公表！

旺文社 教育情報センター 2023年6月16日

2025年からスタートする新課程の共通テストについて、文科省は6月2日に「実施大綱」、入試センターは6月9日に「問題作成方針」をはじめとした一連の資料を公表した。

目新しい内容はほとんどないが、これまでのものは「予告」や「方向性」といった形で発表されてきた。今回はそれらが確定したことを意味する。

●今回公表された資料

■文部科学省 6月2日公表■

- ・ 共通実施大綱 (← 共通の日程、科目など基本事項を示した文科省通知)

■入試センター 6月9日公表■

- ・ 問題作成方針 (← 教科ごとの出題方針)
- ・ 問題冊子、解答用紙について (← 変更点、実際のイメージ)
- ・ 新旧課程 科目一覧 (← 試験時間、配点、出題範囲等)
- ・ 得点調整について (← 変更点、実施方法)

内容的にはすでに予告されていたものばかり。これらを含めた新課程共通の全体像については過去の記事を参照されたい。本記事では新たに発表されたものを中心に見ていく。

⇒ [新課程共通を総まとめで解説！\(2022年12月6日記事\)](#)

●新しい発表

①実施日 … 2025年1月18日(土)、19日(日)

共通はこの10年以上「1月13日以降の最初の土日」で設定されてきたのでわかりきったことではあったが、初めて日程が公表された。かなり遅めの日程となる。

②旧課程「情報」の出題科目名 … 「旧情報」

これまで「旧情報(仮)」だった名称が確定した。

③問題冊子、解答用紙

問題冊子や解答用紙については初めて具体的なイメージや変更点が示された。2025年は経過措置で旧課程の問題が入ってくることから若干複雑になる。受験生が試験のその場で見てもわかるようになってはいるが、高校ではあらかじめ指導をしておきたいところだ。

地歴・公民

■ 問題冊子 ■

《新課程科目》

「地総、地探」 「歴総、日探」 「歴総、世探」 「公共、倫理」 「公共、政経」	「地総／歴総／ 公共」
---	----------------

2冊をビニールでパッケージ

《旧課程科目》

地歴 旧課程科目	公民 旧課程科目
-------------	-------------

2冊をビニールでパッケージ

・パッケージは新旧課程で分かれる。
(旧課程希望者は出願時に申請)
・いずれも問題冊子は2冊。

■ 解答用紙 ■ (新旧課程の区別なし)

第1解答科目 第1面

①	②
---	---

第2面

③	④	⑤	⑥
---	---	---	---

【オモテ面(第1面)】
・①で解答する科目名をマーク(旧課程科目含む)。
⇒ ②に解答(「地総／歴総／公共」の場合はウラ面へ)。

【ウラ面(第2面)】
・「地総／歴総／公共」解答者のみ使用。
・③⑤で解答する分野名をマークし、④⑥に解答。
※第2解答科目も同様。

数学、情報

■ 問題冊子 ■ (数学①の例)

新課程 「数ⅠA」 「数Ⅰ」 旧課程 「旧数ⅠA」 「旧数Ⅰ」	・新旧課程で同じ冊子。 ・旧課程のページは全見開きに 「新課程履修者は選択不可」 の注意書きが入る。
--	---

■ 解答用紙 ■ (新旧課程の区別なし)

①	②
---	---

・①で解答する科目名をマーク
(旧課程科目含む)。
⇒ ②に解答(ウラ面もあり)。

※数学②(「数ⅡBC」、「旧数ⅡB」、「旧数Ⅱ」)、情報(「情Ⅰ」「旧情」)も同様。
数学②は別冊で「旧簿記・会計」「旧情報関係基礎」も(出願時に申請)。

■ 解答用紙のマーク欄 ■

《現在の数学①》 ⇒ 「±」を廃止。

ア	⊖	⊕	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

《現在の数学②》 ⇒ 「a」「b」「c」「d」を廃止。

ア	⊖	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	a	b	c	d
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

➡

《新課程の数学①②》

ア	⊖	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

情報

《新課程の情報》

ア	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	a	b	c	d
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

理科

■ 問題冊子 ■

「物基／化基
／生基／地基」
「物理」
「化学」
「生物」
「地学」

・基礎と発展で同じ冊子。
(現在は試験時間自体
が基礎と発展で別々)

■ 各科目の最初のページに掲載する表 ■

問題	選択方法	
	新課程履修者	旧課程履修者
第0問	必 答	必 答
第0問	必 答	必 答
第0問	必 答	いずれか1問を 選択し、解答し なさい。
第0問	解答しては いけません。	

・理科の経過措置は大問レベルで対応。
・各科目の最初に左表を掲載し、各大問の選択
可、不可を明示。
(該当する大問ページにも注意書きが入る)

※経過措置問題を出題しない場合もありうる。

■ 解答用紙 ■

第1解答科目 第1面

①	②
---	---

第2面

③	④	⑤	⑥
---	---	---	---

【オモテ面(第1面)】

・①で解答する科目名をマーク。
⇒ ②に解答(基礎科目の場合はウラ面へ)。

【ウラ面(第2面)】

・基礎科目の解答者のみ使用。
・③⑤で解答する分野名をマークし、④⑥に解答。

※第2解答科目も同様。

なお一部、出題科目名に変更があった。3月末までの入試センター発表資料では《旧》の科目名だが、今回から《新》に変更。今後はこれで確定ということだ。

《旧》「地理総合、歴史総合、公共」 「物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎」

《新》「地理総合／歴史総合／公共」 「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」

※ちなみに数学も、旧課程「数学Ⅰ・数学A」⇒新課程「数学Ⅰ、数学A」と、ナカグロが読点に変わっている(数学ⅡBCも同様。経過措置科目はナカグロのママ(例:「旧数学Ⅰ・旧数学A」))。数学の場合は新課程共テの構想当初からこの科目名に変更されているが、大学は予告や入試要項の作成の際に注意されたい。

●残りの内容はいつ決まるか

新課程入試関連の決め事については、とりあえずこれでひと段落。いよいよ来年度、新課程入試の初年度がスタートしてから再び動き出すことになる。

来年6月には文科省が「入学者選抜実施要項」を出す。これはその年度の入試全体のルールを定めたもので、共テの追試日程はここで明らかになる。簡素化される調査書の様式も添付される。

その数日後には入試センターが「共テ実施要項」を発表。共テの詳細完全版となるもので、出願、平均点の発表、得点調整などを含めた細かな日程、大学への成績提供、検定料などが示される。時間割の確定もここだ。

なお、昨年11月の試作問題で示された国語の「近代以降の文章＝110点」の内訳※1や、地歴公の共通問題がどうなるのか※2については、本番の試験問題を見てみないとわからないだろう。

※1.評論文＝45点、小説＝45点、実用的な文章＝20点か？

※2.たとえば地理の場合、「地総／歴総／公共」の地総50点のうち、25点分を「地総、地探」の地総に流用か？

(2023.06 石井)